

2025 年 06 月 01 日  
午前 10 時 30 分

主日礼拝

前奏「小羊をばほめたたえよ！(358 番)」  
(C.タンブリング)

**参集** (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主こそ王。  
威厳を衣とし  
力を衣とし、身に帯びられる。  
世界は固く据えられ、決して揺らぐことはない。  
御座はいにしえより固く据えられ  
あなたはとしえの昔からいます。」(詩編 93:1,2)

## 頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我は  
 その独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
 主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
 ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に  
 つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に  
 死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父な  
 る神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生け  
 る者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信  
 ず、聖なる公同きどうの教会、聖徒せいとの交まじはり、罪の赦ゆるし、身  
 体のよみがへり、永遠とこしえの生命を信ず。アーメン。

## 賛美 21-2,3 「主よほめたたえよ」

Thandhaanal thudhippomee THUDHI (TANDANEI)  
 詞：V. Maasilaamaani, 1858?—1932 曲：V. Maasilaamaani, 1858?—1932



2 主しゅの救すくいを知しれ。  
じゅうじ十字架かの上うえで 成なし遂とげられた  
 主しゅの救すくいを知しれ。  
おお大きな愛あい 慈いつくしみて  
 主しゅはあなを見みいだされた。  
 主しゅをほめたたえよ。

3 主しゅを迎むかえよ、今いま。  
はなむこ花婿いイエスを 祝いわいの席せきへ。  
 主しゅを迎むかえよ、今いま。  
み見よ 栄さかえに輝かがやく王おう。  
うた歌え よろこべ ハレルヤ。  
 主しゅをほめたたえよ。

祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

**賛美** 39-5(2 回)「ハレルヤ」



## 聖書 ルカによる福音書 24:44~53

新約(新共同訳)P161~P162

44 イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」 45 そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、 46 言われた。

「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。 47 また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、 48 あなたがたはこれらのことの証人となる。 49 わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

50 イエスは、そこから彼らをバタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。 51 そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。 52 彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、 53 絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

## 賛美 405 「すべての人に」

詞：由木康、1896~1985

FUKUJIN  
曲：岡本敏明、1907~1977



- 1 すべてのひとにのべつたえよ、  
かみたま 神の賜えるよきしらせを。  
ちちなるかみ 父なる神はみ子をくだし、  
すくいのみちを ひらきませり。

- 2 あまねくのべよ、よきしらせを、  
まことの幸をもとめつつも、  
むなしきものにさそわれゆく  
世の人々にのべつたえよ。

- 3 十字架のうえに死にたまえる  
み子こそ永久のすくいなれば、  
かみたま 神の賜えるこの知らせを  
地のはてまでも告げひろめよ。

## 説教 「決定的に近づく主イエス」

## 賛美 346 「来たれ聖霊よ」

Holy Spirit, ever living  
詞：Timothy Rees, 1874~1939

ABBOT'S LEIGH  
曲：Cyril V. Taylor, 1907~1991



- 1 来たれ聖霊よ、信ずる群れに、  
たはたら いのち 絶えず働きて 命をたまえ。  
し主イエスのこころを こころとなして  
ゆたかなみ恵み、たたえよ、つねに。
- 2 強き聖霊よ、信ずる群れに、  
つよき せいれい しんむ 今も働きて 力をたまえ。  
いま はたら ちから 罪にとらわれし こころをきよめ、  
ゆたかな賜物、与えよ、つねに。

## 派遣

- 司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン



## 後奏 「キリストの昇天」 (H.ウィラン)

- 司式 光成 由樹  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。